

# 国際ロータリー 第2640地区

Vd.10  
2024年

4



2023-2024年度 RIテーマ  
世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

## Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！」  
4月は「環境月間」



2023-2024年度  
ガバナー 谷 宗光

写真提供：橋本市「恋のチューリップ畑」玉井洋司(田辺RC)

Rotary  
第2640地区



国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/tani>



## 目次

RI会長 メッセージ .....	1	創立65周年記念式典 和歌山東RC .....	13
ガバナー メッセージ .....	2	創立40周年記念式典・祝賀会 高師浜RC .....	14
環境の保護 .....	3	創立50周年記念事業 田辺東RC .....	15
<b>【RIニュース】</b>		創立70周年記念ゴルフ大会 御坊RC .....	16
井戸の価値 .....	4	第4分区 合同例会を開催 ホスト:橋本RC .....	17
4月24日～30日は「世界予防接種週間」 .....	5	新会員の紹介 / 訃報 .....	18
<b>【地区活動報告】</b>		ハイライトよねやま Vol.288 .....	19-20
2023学年度 米山記念奨学生 修了式 .....	6	コーディネーターニュース 4月号 .....	21-22
次年度の会長エレクト研修セミナー(PETS) .....	7	会員数報告(2024年2月) .....	23
ロータリー財団補助金セミナー .....	8	My Rotary 登録状況(2024年3) .....	24
<b>【クラブ活動報告】</b>		4月の行事予定 .....	25
和歌山市内9RC インターシティミーティング .....	9		
能登半島地震の義援金 和歌山市内9RC .....	10		
復興支援チャリティーコンサート 御坊南RC .....	11		
復興支援チャリティーライブ 堺おおいずみRC .....	12		

ロータリー入会は成長の機会

Rotary  My Rotary

シンガポールで希望をわかち合おう

# 2024年ロータリー国際大会

2024年5月25日～29日  
シンガポール

Rotary  

## 多様性・公平さ・インクルージョン

ロータリーのコミットメント

私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界のビジョン実現に向けて取り組みます。

## ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、及び活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起らないよう確認する。

(2019年1月理事会会合、決定119号)

# PRESIDENT'S MESSAGE

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長  
ゴードン R. マッキナリー

RI 会長メッセージ  
 指定記事

## 私たち自身の変化

今こそ、平和が切実に求められています。中東はここ数年で最も不安定な情勢にあります。ウクライナでは第二次世界大戦以降、ヨーロッパで最大規模の戦争が起こっていて、スーダンと中央アフリカの一部でも武力紛争が発生しています。ほぼ全ての大陸で大規模な武力紛争が起こっています。

ロータリーは平和を推し進める上で、重要な役割を担っています。「ロータリーは戦争を望む人々に負けないくらい積極的に、平和に取り組む必要がある」と私はよく口にします。その精神は、ロータリーのビジョン声明に表されています。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。世界に変化をもたらすには内なる変化を促す必要がある、ということをお忘れではありません。

平和を築く行動を互いに実践できるかどうかは、自分たち次第です。私たちは、互いの動機を疑ったり、最悪の解釈にすぐ飛びついたりするべきではありません。関係や気分を害するような言葉を口にされても、その発言の意図を思いやりと好奇心をもって聞き返す機会が私たちにはあります。そうすれば、関係を修復するチャンスが生まれます。

世界の模範になりたいのであれば、互いにこのようになることから始めましょう。相手を傷つけ、不信を生み出す言葉ではなく、より深い理解と実り豊かな付き合い方を一緒に見つけましょう。ロータリーの理念を守りつつ、対立を悪化させずに終わらせるためには、誠意を疑わないことが大切です。

アフリカ系アメリカ人公民権運動の指導者、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア(キ



ング牧師)暗殺事件が起こった 1968 年 4 月 4 日に、ロバート F. ケネディ上院議員が行った演説が思い出されます。

遊説中だったケネディ上院議員は、演説先のインディアナポリスでキング牧師が殺害されたことを知ります。彼は、演説に集まったアフリカ系アメリカ人を中心とした住民たちにその悲報を伝え、正義と平和のために尽力したキング牧師をたたえました。そして、次の言葉が怒り悲しむ群衆の心をつかみました。「このような正義にもとる行為に、あらゆる白人に対して憎しみと不信感が募りそうだという黒人の方には、私も同じ気持ちだ、としか言えません。私も兄の暗殺を経験していますから」。ジョン F. ケネディ元大統領の暗殺事件について彼が公の場で話したのは、この時が初めてでした。その夜、アメリカ中の都市で暴力事件が多発しましたが、インディアナポリスでは起こりませんでした。

危機と絶望の中にいるとき、私たちは何よりも共感を必要としています。共感こそ平和へ至る最も強力な手段です。世界に希望を生み出すために、勇敢に、そして謙虚に最初の一步を踏み出すには、共感の心を持たなくてはなりません。



## ガバナー メッセージ

### 4月は「環境月間」です。

2023-2024年度

ガバナー 谷 宗光



土筆が顔を出し、菜の花が春の訪れを知らせてくれています。

私は、桜も大好きですが、早春の菜の花の黄色と緑がとても好きです。「春が来る！」と心躍る気持ちになり、その色は、「ビタミンカラー」と言われるように、私たちに元気を与えてくれているように思います。



先日、河内長野東ロータリークラブ様、田辺ロータリークラブ様共催の植樹事業にお邪魔させて頂きました。田辺市の天神崎で「自然を守ろう！」「50年後の子供たちのために！」と行われている事業です。これこそが社会奉仕であり、ロータリーの使命の一つだと強く感じました。

今月は環境月間ですが、環境問題も多岐にわたりますので、一例の話を書かせて頂きます。地球温暖化や水質汚染などの問題は、我々人間が引き起こしている問題なのです。

「便利の追求をするあまり」「利益を求めるあまり」私たちが住んでいるこの地球に過度な負担をかけているのではないのでしょうか？

地球も呼吸をしているのです。水分を吸収してくれているのです。人に例えてみましょう。

朝、化粧をしても、夜には落とし、保湿の化粧水なり乳液を塗るでしょう。まさか自分の顔や肌に、化粧が崩れないからと、石膏や漆喰で化粧をしている人はいないでしょう。

アスファルト舗装の道路は、快適で走りやすいです。コンクリートジャングルのまちは、スタイリッシュです。

しかし、全ての地面が舗装され、森林が伐採され、山が削られ、海が埋め立てられたなら…それは、「地球も熱をだしますよ！」「火山も噴火しますよ！ 思わぬところで地震！に大雨！鉄砲水！」

近年、現実に頻発していますよね！ 私たちロータリアンは、環境破壊、ごみ問題、もう少し真剣に考え行動しないと、春の素敵桜も、天神崎のような風光明媚な素晴らしい場所も、季節のうつりかわりも…未来に何も残せなくなるのではないのでしょうか。



**ロータリーは、地球環境の保護活動に取り組んでいます。**





# 環境の保護

ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。

ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。

## ロータリーのアプローチ

ロータリー会員は、プロジェクトを立ち上げ、つながりを生かして政策や方針の変更を促し、未来を形づくる計画を立てます。環境問題においても同じアプローチで取り組んでいきます。

# 1,840万ドル

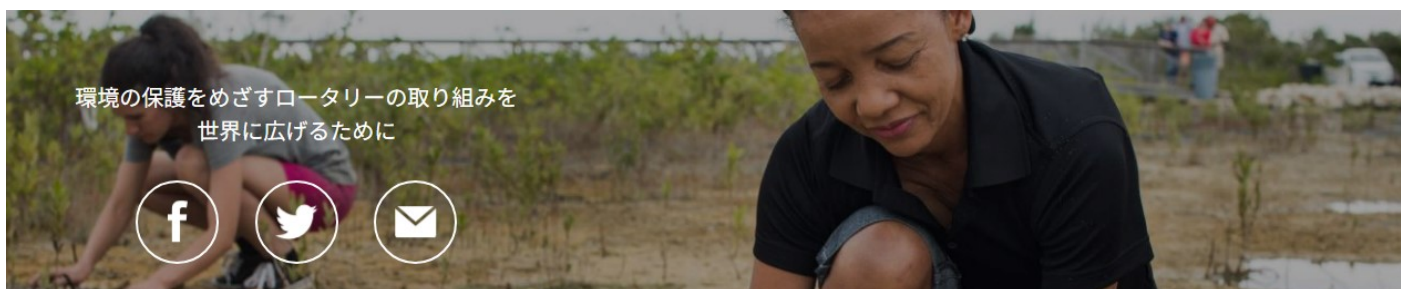
地域社会の経済発展や水と衛生プロジェクトへの支援を通じて、過去5年間に環境関連の活動に充てられたロータリー財団グローバル補助金。

- 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
- 天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上
- 持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
- 温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み
- 気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
- 環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援
- より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱
- 環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み

ロータリーの  
重点分野



環境



環境の保護をめざすロータリーの取り組みを  
世界に広げるために



気候変動との闘いを支援するために、  
あなたにもできることがあります



## 【RIニュース】



# 井戸の価値



### 安全な水の供給が多くの恩恵を村にもたらす

ジンバブエでは水を当たり前にあるものとして使う人はいません。首都ハラレから約160キロに位置するこの二つの村は、水不足による大きな影響を受けています。つい最近まで、多くの住民は毎日5キロ以上歩いて水を汲みに行っていました。

「人びとは井戸や川から水を得ていた」と、ムシャキの議員であるトライモア・タファズワ・カバンダさんは話します。

この状況が変わったのは、数千キロも離れた二つのロータリークラブが補助金プロジェクトで協力することを決めたときでした。2020年、米国カリフォルニア州のセントヘレナ・ロータリークラブの会員たちは、ジンバブエで育った妻をもつゲストスピーカーから、同国の村々が置かれた状況について学びました。90%以上の世帯が農業を主な生計手段としているジンバブエで、気候変動が降雨量に壊滅的な影響を及ぼしていることを知ったのです。ジンバブエの降雨パターンは、ここ20年で大きく変化しました。かつて雨季は10月から3月まで続きましたが、今では12月下旬まで始まらないこともあります。

セントヘレナのロータリアンは、地域社会調査を実施したハラレCBDロータリークラブ(ジンバブエ)に連絡を取りました。その後、両クラブは資金を集め、ロータリー財団のグローバル補助金を申請しました。82,000米ドルのプロジェクト計画では、二つの井戸を



掘り、太陽光発電ポンプと水の配管システムを設置し、住民を対象に設備の維持管理についての研修を行い、衛生の重要性に関する教育キャンペーンを実施することが予定されました。

このプロジェクトは簡単そうに見えましたが、完了までに1年以上を要しました。最

初の障壁は役所との手続きでした。

「プロジェクトを始める前に、必要な認可を得るためにさまざまな役所と連絡を取ることが極めて重要」だと、ハラレ・ロータリークラブの元会長であるアントニー・マツィカさんは話します。「四つのレベルの承認を受ける必要がありました。州開発調整官、地区開発調整官、農村地区評議会、そして最後とはいえ重要なのは、その地域の首長です。これらのさまざまな利害関係者を通さなければ、プロジェクトを成功させることはできませんでした」

作業が始まると、クラブは予想もしなかった問題に直面しました。掘った井戸の一つが水脈に当たらなかったのです。

ジンバブエで掘削を行うには二つの方法があります。掘削業者に掘削場所を指示し、その穴から何も出てこなければ別の場所での掘削費用を負担する。それが一つの方法です。「ウェットホール、つまり水の出る穴を掘削することを保証する契約をすべきでした。私たちにとってこれは教訓となりました。結果として、新たに資金集めをしなければなりません」

最終的に、村の人びとは水を手に入れることができました。現在、セントヘレナとハラレの両クラブは、この地域のさらに二つの村を支援するため、2回目の補助金プロジェクトを計画しています。このような取り組みには、まだ多くのニーズがあります。世界保健機関(WHO)の推計によると、水や衛生設備が不十分なために毎年140万人が命を落としています。安全な水を手に入れることは、しばしば驚くような形で人びとに影響を与えます。

水は、ロータリーのすべての重点分野に関連している。「水が得られれば、子どもたちは川に水を汲みに行くために学校を休む必要もありません。親も水汲みに時間を割く必要がないため、経済的な生産性が高まります。水を起因とする感染症にかかる人も少なくなります。すべては水から始まるのです。」

新しい井戸のおかげで、今では、ほとんどの村人は水を汲みに何キロも歩く必要がありません。また、コレラのような病気も防げるようになりました。

2024年3月



## 【RIニュース】

### 4月24日～30日は「世界予防接種週間」

世界保健機関(WHO)は、毎年4月24日～30日を世界予防接種週間と定めています。ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体は、身体まひを引き起こすポリオから子どもを守るための予防接種の重要性を強調するために、毎年この機会を活用しています。世界予防接種週間には、GPEIが1988年の設立以来、予防接種を通じてポリオの症例を99.9%以上削減してきたことを多くの人に伝え、予防接種の効果を示すことができます。この週間にクラブがポリオ関連イベントや活動を実施するために使用できる新しい情報と資料がポリオ根絶支援サイト([endpolio.org/ja](http://endpolio.org/ja))のリソースセンターに掲載されますので、同サイトをご確認ください。



#### ポリオ根絶のためにできること

1. 世界予防接種週間(4月24日～30日)についてカレンダーに印をつける。ポリオ予防接種活動への支援を増やすためにその週に何ができるかを、今からクラブで考えてみましょう。
2. 新型経口ポリオワクチン2型(nOPV2)がまもなくより多くの国で利用可能になるという素晴らしいニュースをシェアする。

#### 画期的なポリオワクチン(nOPV2)をWHOが承認

私は  
ポリオ根絶  
をサポートします



変異ポリオウイルスによるポリオ発生を食い止めるために欠かせない新しい手段として、新型経口ポリオワクチン2型(「nOPV2」としても知られる)が各国で入手しやすくなります。これは、12月に世界保健機関(WHO)がnOPV2を承認したことにより可能となりました。WHOの緊急用リストにおいてこの種のワクチンの使用が承認されるのは、今回が初めてです。



世界予防接種週間

2024年4月24日～30日



## 【地区活動報告】

### 2023学年度 米山記念奨学生 修了式



地区米山記念奨学委員会

2024年3月2日午後、和歌山市JAビルに於いて、2023学年度2640地区米山記念奨学生15名の修了式を開催しました。

米山記念奨学委員会、新本委員長の挨拶で開会されました。続いて、米山記念奨学会、樫畑理事から祝辞を頂き、谷ガバナーより世話クラブカウンセラーへ奨学期間中のご苦勞に対し感謝状を贈呈、修了生には修了証書と委員会からの記念品を一人一人に授与されました。



継続学生から送辞、修了生代表の謝辞、カウンセラー代表挨拶を経て、第一部が終了しました。

第二部では修了生の時間として、和やかな雰囲気の中、一年間の記録動画、修了スピーチ等行われ、ロータリー米山記念奨学会に対して感謝の気持ちを表してくれました。

当日の参加者は谷ガバナー、村上評議員、樫畑理事、野村ガバナーエレクト、北野ガバナーノミニ、細川ガバナー補佐、久保代表幹事、豊田副代表幹事、三木特別幹事、米山委員12名、カウンセラー13名(重複有)、学友会董涛会長、奨学生(修了生・継続生)19名の参加となりました。

この経験を糧に、修了生の皆さんが日本と母国との懸け橋となって活躍されることを願っております。



日本のロータリーは、海外からの留学生を支援しています



## 【地区活動報告】

### 2024-2025年度のための会長エレクト研修セミナー (PETS)

ガバナーエレクト 野村 壮吾

先日、2024年3月10日(日)ホテル アバローム 紀の国にて、国際ロータリー第2640地区2024-2025年度のための会長エレクト研修セミナーを開催いたしました。

介様より「国際ロータリー事務局より」と題して、国際ロータリーの概要、各クラブ・地区へのサポート体制などについてお話しをしていただきました。



午後からは、次年度地区予算案について説明を行った後、和歌山大学名誉教授の堀内秀雄様より「社会貢献とコンプライアンス」というテーマで講話をしていただきました。

その後、地区各委員会からのお願い、報告を行った後、ご出席の次年度各会長様より自己紹介を壇上にて行いました。各クラブの会長エレクト様より、次年度に対しての意気込み、抱負を聴かせていただき、地区を運営する側として非常に心強く、また楽しみな一年になると確信した次第です。出席していただいた会長エレクト、関係者の皆さん、お疲れ様でした。

開会点鐘、奉仕の理想を斉唱の後、本年度地区ガバナーの挨拶を頂いた後、私の方から、2024年1月に開催された国際協議会の報告をさせていただき、2024-2025年のステファニーRI会長が提唱するテーマ「ロータリーのマジック」について説明をさせていただきました。その後、次年度ガバナーの基本方針である「ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう」について説明を行いました。



ロータリーのマジックについて説明をさせていただきました。その後、次年度ガバナーの基本方針である

「ロータリーの原点 四つのテストを実践しよう」について説明を行いました。

ステファニーA.アーチック2024-25RI会長は、「四つのテスト」の実践で世界はよりよくなると仰っています。思いやりのある行動を取ることで、不安や落ち込んでいた心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは他者を助けることに喜びを見出します。助けられる人々、また、その周りにいる人々もこのロータリーの奉仕活動から精神的な平和を感じ、地域の平和構築推進のインパクトにつながることでしょ。



また、次年度地区ラーニングファシリテーターの豊岡PDG様から「クラブ会長の役割等」についてご説明をいただき、引き続き国際ロータリー日本事務局事務局長の中井啓

2024-25年は、「四つのテスト」という手鏡で常に自分自身を写しながら、ロータリー活動を実践して参りましょう。

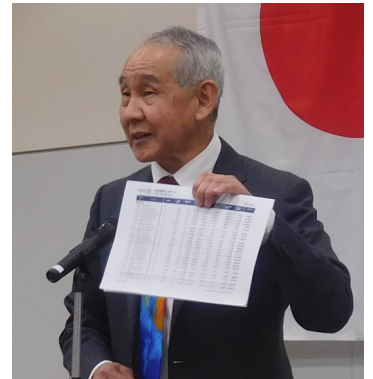
【地区活動報告】



ロータリー財団補助金セミナー

地区ロータリー財団委員長 中野 均

3月17日(日)JAビルにおいて、財団補助金セミナーを開催しました。このセミナーは、2024-25年度クラブにおいて補助金事業を実施するために受講することを条件としています。2021年度に地区で使用できる補助金額が改定される旨通知があり、次年度より実行されます。それは3年前の年次基金寄付額の内95%の使用となりました。5%は、運営費としてRI財団で使用されます。少しですが、計算上減ることとなり、例を示して説明させていただきました。



この説明に入る前に2018-19年度から2022-23年度にかけて地区の現状を聞いていただきご寄付のお願いをさせていただきました。



昨年引き続き、3名の財団学友からzoomで現況報告を予定していましたが、当日設定の不具合で上手くつながらずご出席いただきました皆様に多大なるご迷惑をお掛けしましたことに深くお詫び申し上げます。



ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。





## 【クラブ活動報告】

# 和歌山市内9RC インターシティミーティング (I.M.)

I.M.ホスト 和歌山中ロータリークラブ



尾花市長の基調講演



パネルディスカッション



IM剰余金提供者に決定した和歌山アゼリアRC様に自録贈呈



パネルディスカッション

### 和歌山市の活性化を考える 9RCが意見交換

【わかやま新報 03月22日[社会] 掲載記事】

和歌山市内の9ロータリークラブ (RC) が一堂に集い、地区の未来や今後の奉仕活動について話し合うインターシティミーティング (IM) が17日、市内のアバローム紀の国で開かれた。尾花正啓市長を迎え、「ロータリーとして和歌山市の活性化のために何をすべきか」をメインテーマに、活発に意見を交わした。

和歌山中RC (戎敬史会長) がホストクラブとなって開催。和歌山青年会議所、和歌山東南ローターアクトクラブ、慶風高校インターアクトクラブを招き、約160人が参加した。

第1部では、尾花正啓市長が「和歌山市の未来」を演題に基調講演。市の課題を挙げ、経済や観光、防災、子育て支援など、現在進める取り組みを紹介した。

第2部では、9クラブの代表者が社会奉仕活動の予定や方針を発表。内川を中心とした水辺空間の魅力創出、和歌山城や周辺施設の整備、地域防災の強化、児童養護施設の子どものための支援など多岐にわたる奉仕活動について紹介した。クラブ単体では予算規模も限られるため、今後は9クラブ合同の奉仕活動を増やしてはどうかという提案も盛り込まれた。

市長を交えた9クラブ代表者によるディスカッションでは、イベントに関して、一点集中的に力を入れてほしいという意見が上がり、尾花市長は「とても大事なこと。和歌祭や港まつり、紀州おどりなどがあるが、県外から人を呼び、できれば宿泊を伴うイベントにしなければと思っている」とし、これまでは各団体との調整で日程の発表が直前になってしまうことが多かったが、今後は開催までに余裕を持って広報できるよう進めたいとした。

RCからは、市と9RCが定期的に奉仕活動に関する会合を開いて情報共有することや、全国からの集客を目的に、RCの情報網を生かした魅力発信などを提案。尾花市長は「大変ありがたい。和歌山市が弱い県外への広報など、ぜひ一緒にやらせていただきたい」と応じた。

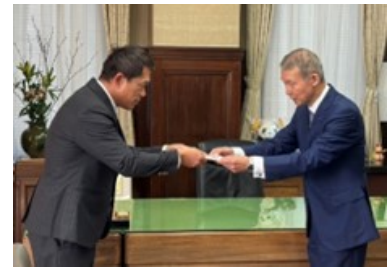
各クラブの提案に対して賛同を募る投票も実施。和歌山アゼリアRCが選ばれ、IM予算の剰余金が提供された。

## 【クラブ活動報告】

### 県を通じて「能登半島地震」被災地へ義援金を届けて

#### 和歌山市内9ロータリークラブ

1月1日に勃発した「能登半島地震」被災地に何か会員として応援できないか、との思いで和歌山市内9RC会長・幹事会で全会一致となり、9RC会員全員から善意の合計188万円が集まった。



早速、2月13日(火)に和歌山県庁にて岸本和歌山県知事に目録贈呈したところ、岸本知事からは我々和歌山市内9RCに感謝の言葉を頂きました。当日の様子はNHKとテレビ和歌山から取材・報道頂きました。

なお、同じ内容を「ロータリーの友」にも投稿します。

### 能登半島地震の支援活動について

#### 和歌山城南ロータリークラブ



クラブ例会で3週にわたり「令和6年能登半島地震」支援募金活動を実施し集まった50,000円を、和歌山市内9RCの支援募金と合算して和歌山県を通じて被災地に送金しました。



#### 能登半島地震被災地支援 和歌山市のロータリークラブが義援金

【和歌山 NEWS WEB 2月13日 掲載】



能登半島地震の被災地を支援しようと、和歌山市内のロータリークラブが集めた義援金188万円が岸本知事に手渡されました。義援金は、石

川県などを通じて被災者の生活支援に充てられるということです。

先月、最大震度7を観測した能登半島地震の被災地

は、地震から6週間がたったいま多くの人が避難生活を余儀なくされていて、水道や道路などの復旧や生活再建の見通しが立たない状況が続いています。

こうした中、13日は、和歌山市内の企業経営者などで作る「ロータリークラブ」の代表者10人が県庁を訪れ、岸本知事に義援金188万円を手渡しました。

岸本知事は、「現地の復旧・復興は道半ばで、派遣された県の職員もテントを張って寝泊まりしている状況です」と述べ、義援金を大切に届けたいという意向を伝えていました。

この義援金は、市内9つのロータリークラブの会員から集めたもので、全額が石川県などを通じて被災した人たちの生活支援に充てられるということです。

和歌山城南ロータリークラブの東徹 会長は、「和歌山もひとつとでない。インフラの整備などに活用してもらい、1日でも早く復旧・復興を果たしてほしい」と話していました。



## 【クラブ活動報告】

### 能登半島地震に対し、復興支援チャリティーコンサート

御坊南ロータリークラブ

会長 丸山 晋右

当クラブは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対し、復興支援チャリティーコンサートを令和6年2月25日(日)午後5時30分より当クラブ会員の古谷恭子さんの「ラウンジ真心(しん)」にて行いました。



このコンサートを行う事になったのは、当クラブ会員の濱口顕人君

が普段からお付き合いのある、フォークソング系のプロデュースをされている(株)ユイプランニングファクトリの久澄信幸さんから、「歌手の庄野真代さんが2月に能登でコンサートをやる予定だったのが震災でキャンセルになり、2月24日に和歌山県のかつらぎ町でコンサートをするので、次の日の2月25日に能登半島復興支援チャリティーコンサートを御坊市で出来ないか」というお話をいただいたことが発端です。急な話でしたが趣旨に賛同していただけた方々に声を掛け、結果的に約60人の方々が会場をいっぱいにしてくれました。



庄野真代さん、坂本洋さん(ピアノ)、稲葉智さん(ギター)によりコンサートは始まりました。庄野さんは「モンテカルロで乾杯」、「グッバイモーニング」など懐かしい歌と、昔、和歌山城の天守閣で歌った思い出話などを織り交ぜ、終盤には「飛んでイスタンブール」を歌って下さり、おかげさまで、1時間30分の楽しい時間を過ごすことができました。

後日、チケット販売収入、当日会場に来られた方々の寄付や協賛頂いたラグレースゴルフ倶楽部様からの寄付、当クラブ会員からの寄付などを合算し、必要経費だけを引いて、300,600円を日本赤十字社石川県支部に送らせていただきました。

## 【クラブ活動報告】

### 能登半島復興支援チャリティーライブ

堺おおいずみロータリークラブ

3月16日(土)夜、堺おおいずみロータリークラブ主催で、堺7ロータリークラブ協力の元、堺市内(サンスクエア堺ホール)にて、能登半島復興支援のチャリティーライブ(落語家・桂紅雀さんと森山百恵会員が総合司会)を開催しました。

堺のイベントで活躍する「堺スズメ踊り」がオープニングを飾り、猿田会長の挨拶では、被災地を思い黙祷。堺市危機管理監に言葉を頂いた後、大和語り部・やすきひろ子さんによる、「七尾市出身の長谷川等伯と千利休との関わり」、ロータリーでスエーデンへの留学経験を持つ、講談師・玉田玉秀斎さんの講談。堺7ロータリークラブ有志による「震災について」のフォーラム。入場整理券による抽選会(ユニークな景品で盛り上がりました)。



続く音楽ライブでは、“通天閣の元気娘” むんむさんのオリジナル曲(金沢市最古の石浦神社のゆるキャラ・きまちゃんの歌など)の後、おおいずみの会員によるバイオリン、ギター演奏で、会場の皆さまと「上を向いて歩こう」「花は咲く」などを歌い、ロータリーソング

「手に手つないで」もご一緒頂きました。

フィナーレでは、被災地に想いを馳せて「ふるさと」を合唱。会場が一体になったと感じました。

スタッフ・出演者42名を合わせて、212名が参加くださり、25万円を超える寄付金が集まりました。



能登半島復興支援



## 【クラブ活動報告】

### 創立65周年記念式典

#### 和歌山東ロータリークラブ

2月23日の天皇誕生日の祝日にホテルグランヴィア和歌山にて和歌山東ロータリークラブ創立65周年記念式典が行われました。当日は和歌山県知事 岸本周平様はじめ多くのご来賓やロータリー関係者の皆様にご臨席いただき式典に花を添えていただきました。



式典では当クラブの佐藤義記会長の挨拶に始まり和歌山県知事岸本周平様、和歌山市長尾花正啓様にお祝いのメッセージをいただき、最後に2640地区の谷宗光ガバナーのご挨拶で会場を盛り上げていただきました。物故会員様への黙とうでは過去5年間の間にお亡くなりになりました駒井則彦名誉会員と笹島良夫会員に黙とうを捧げました。

創立65周年記念事業の発表では赤井副実行委員長より和歌山城公園へのベンチ寄贈事業の発表が行われました。当クラブでは創立55周年の記念事業として和歌山城の動物園に記念写真用のパネルを寄贈した経緯もあり和歌山城公園の施設の充実の一環として今回ベンチを寄贈させていただくことになりました。市民の皆様や観光客の皆様にご利用いただき和歌山城の繁栄に寄与できることを祈っています。最後に永年在籍表彰が行われ在籍50年以上会員として内畑瑛造会員に、在籍40年以上会員として村田昌之会員に表彰が行われました。



引き続き祝賀会が行われ美味しい食事と共にアトラクションではものまね芸人のマーチンRYO様にお越しいただき美空ひばり、谷村新司のものまねで会場を盛り上げていただき、最後は西城秀樹のYMCAを会場の全員で大合唱して皆さんに楽しんでいただきました。

祝賀会の最後にはコロナ禍では出来なかった「手に手つないで」をご参加の皆さんと輪になって行いお開きとなりました。

65年の間我がクラブの発展にご尽力いただきました先輩方並びに関係者の皆様にお礼を申し上げ記念式典のご報告とさせていただきます。



【クラブ活動報告】

創立40周年記念式典、祝賀会

高師浜ロータリークラブ

高師浜ロータリークラブは、1984年2月に産声を上げ本年で創立40年を迎えることができ、3月23日(土)ホテルレイクアルスターアルザ泉大津にて姉妹クラブの韓国昌原ロータリークラブのメンバー25名を含む50名の御招待客を迎え盛大に開催されました。

第2640地区から、谷宗光ガバナーをはじめ、皆様からあたたかいスピーチを頂き、当クラブ山本会長からは長年にわたる高師浜RC市民ふれあいウォーク等の奉仕活動や40周年記念事業の南海高石駅前に陽光桜の植樹の紹介がありました。

10名という少人数クラブではありますが、メンバー全員の手作りで準備をしてきたことを高く評価頂き、無事終わることが出来ました。

終えてからはメンバーから次の10年に向けて会員増強とさらに魅力的なクラブ作りをしていきたいと思いますと話しました。



高師浜ロータリークラブ 創立40周年記念式典



## 【クラブ活動報告】

### クマノザクラ学習ならびに記念植樹 創立50周年記念事業

#### 田辺東ロータリークラブ

田辺東ロータリークラブ(会長 谷本司)は、創立50周年記念事業の一環として、「クマノザクラの学習ならびに記念植樹」を行いました。



2月28日(水)に田辺市新庄第二小学校5・6年生を対象に「樹木医甚兵衛 矢倉寛之氏」によるクマノザクラ学習を通じて地域の自然環境について学ぶとともに、3月6日(水)には田辺市新庄総合公園に於いて樹木医矢倉氏のもと、同小学校の児童を含む当クラブメンバーでクマノザクラの挿木苗を植樹いたしました。



実際に植樹を行うことで景観美化はもちろん、地域の生物の多様性保全について学ぶことを目的とし、児童の皆さんも授業で学んだことを再確認しながら一つ一つ丁寧に植樹していました。

数年数十年先、これらの苗木が成長し満開になったクマノザクラを、大人になった皆さんと一緒に観ることができるのを楽しみにしています。そして、わが街ふるさとの思い出の場所に加えていただければ幸いです。

### 創立50周年記念ゴルフ大会

#### 田辺東ロータリークラブ



3月10日(日)白浜ゴルフ倶楽部に於いて、田辺東ロータリークラブ創立50周年記念ゴルフ大会を開催いたしました。幸い天候にも恵まれ、絶好の日和のなかINコース8組・OUTコース9組総勢67名の皆様にプレーを楽しんでいただくことができました。



プレー終了後の表彰式は実施せず、優勝～20位、飛び賞、BB、BM、ベスグロ、ニアピン、ドラコン、50周年賞、シニアの部と沢山の賞をご用意し順次、お送りさせていただきました。

朝早く、また遠方からご参加いただいた皆様ありがとうございました。心より御礼申し上げます。





## 【クラブ活動報告】

### 創立70周年記念ゴルフ大会

#### 御坊ロータリークラブ

本年度、御坊ロータリークラブは70周年を迎え、記念事業のひとつとして、3月20日(春分の日)に70周年記念ゴルフ大会を紀南カントリークラブにて開催しました。

2640地区の各クラブより、谷ガバナーはじめ、総勢74名の皆様にご参加を頂きました。



当日は、台風並みの強風が吹き大荒れ極寒のゴルフでしたが、無事に記念ゴルフ大会を終えることができました。この大会を通じて皆様の友情が一層深まり、また当クラブとの交流が盛んになることを祈念いたします。



優勝は田中元章(田辺RC)さん、準優勝は和田茂生(田辺RC)さん、シニア優勝は中善隆(有田南RC)さん、レディース優勝は谷口麻希(御坊RC)さんでした。ありがとうございました。





## 【クラブ活動報告】

### 第4分区 5クラブ合同例会を開催

ホスト:橋本ロータリークラブ

2024年3月7日(木)橋本カントリークラブを会場に第4分区5クラブ合同例会(ホスト:橋本ロータリークラブ、実行委員長 森本和洋)を開催しました。

12:30点鐘に始まり、ソング「君が代」「奉仕の理想」そして橋本ロータリークラブ恒例の握手にて和やかに開会致しました。

森本和洋実行委員長、橋本ロータリークラブの田中崇喜会長の開会挨拶の後、久保忠生地区代表幹事、北野治義ガバナー補佐よりご挨拶頂きました。



各クラブ会長による今年度の活動報告、情報交換を行いました。

- 粉河ロータリークラブ 原 伸行会長
- 河内長野高野街道ロータリークラブ 岡本弥生会長
- 岩出ロータリークラブ 明渡眞幸会長
- 高野山ロータリークラブ 角濱正和会長
- 橋本ロータリークラブ 田中崇喜会長



休憩後、米山記念奨学生 金 鉉珉さんによる 大学での研究テーマのプレゼンプロジェクトでアニメーション作品を鑑賞。



次年第4分区ガバナー補佐及び次年度各クラブの会長、幹事のご紹介を行い、ソング(手に手つないで)では、輪になりソング合唱、ロータリー活動の活性を感じられる締めくくりとなりました。

各クラブとの交流の輪が広がり充実した合同例会となりました。



## 新会員の紹介

	クラブ名	御坊ロータリークラブ		クラブ名	田辺東ロータリークラブ
	氏名	すみ みつひろ 角 光弘		氏名	かしき まさかず 榎木 正和
	職業分類	土地家屋調査士		職業分類	産業廃棄物収集運搬業
	生年月日	1977年5月11日		生年月日	1975年3月31日
	入会年月日	2024年2月16日		入会年月日	2024年2月1日
	クラブ名	和泉南ロータリークラブ	<p style="text-align: center;"><b>ロータリーで 自分の可能性を 広げよう</b></p>		
	氏名	むしP.まなせ ムジP. マナセ			
	職業分類	自動車輸出			
	生年月日	1974年5月5日			
	入会年月日	2024年2月8日			

# 奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリークラブへの入会は、職業人や市民リーダーの世界的ネットワークの一員となること。ロータリーの会員は、クラブの枠を超えて海外の会員と交流したり、リソースを寄せあって国際奉仕活動も行っています。

ロータリークラブの魅力は、職業やビジネスで活躍する会員と出会い、いっしょにリーダーシップを発揮しながら、地元のために活動できることです。例会で情報を学んだり、アイデアを持ち寄って奉仕プロジェクトを計画したり、楽しく活動する中で生涯にわたる友情が育まれるでしょう。以下をはじめ、さまざまな方法でクラブに積極的に参加してみましょ。

## 言 ト 幸 辰

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

和歌山城南ロータリークラブ



やまがた よしき  
山縣 好希 様

2024年2月19日 逝去

在籍期間 17年7か月  
職業分類 慶弔センター  
表彰 マルチプルボールハリスフェロー(2)  
米山功者(1)





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライト よねやま

vol. 288

2024年3月13日  
発行

## 1. 世話クラブへ届けた義援金

ネパール出身の米山学友、ギミルハリパラサドさん（2014-15/四街道RC）が2月27日に世話クラブの例会に出席しました。現在は千葉大学法政経学部で講師としてアジアの政治や市民社会について教えながら、同大学のグローバル関係融合研究



ハリさん(前列右から4人目)の奨学生時代、例会にて

センターで特任研究員として勤務中。将来は「日本とアジア諸国の懸け橋になれるような研究活動を進めていきたい」と語るハリさん。

今回例会に出席した目的は、義援金を届けるためでした。というのも、母国ネパールで2015年4月に起きた地震により大きな被害が出た際、四街道RCが義援金として160,000円の寄付を行い、当時米山奨学生だったハリさんを通じてネパールへ送金していました。この義援金は現

地で仮設住宅の建設などに役立てられ、実際に仮設住宅に住んでいた人々はとても喜び、支援をしてくれた四街道RCの方々に感謝していたそうです。

その時から約9年後、今回の能登地震の発生を受け、当時支援を受けたネパー

ルの方々から「何か力になりたい」との連絡がハリさんに入りました。そして、ネパールから義援金が届き、ハリさん自身の寄付金を加えた170,000円を例会でクラブ会長へ手渡ししました。

例会場は温かい拍手に包まれ、「受け取った義援金は被災地へ届ける」と、会長から力強い言葉を貰ったとのことでした。

## 2. マレーシア米山学友会 総会開催

3月1日、マレーシア米山学友会の総会がハイブリッド形式で開催され、会場に24人、オンラインで11人、計35人が参加しました。また、海外米山学友会からは、スリランカ米山学友会会長のダシルワプ



ドゥさん（2007-09/室蘭北RC）、ネパール米山学友会理事のギリラムさん（1998-2000/室蘭RC）がオンラインで参加し、全体を通して和気あいあいとした雰囲気の総会となりました。

会長の黄建榮さん（1998-2000/室蘭東RC）

は挨拶で「学友会の活動テーマは『教育』である」として、マレーシアと日本の高校生の交流プログラムを企画・運営していることや、小児医療機関への寄付など、重点的に力を入れている活動を紹介。また、マレーシアにあるロータリーク

ラブを訪問し、米山記念奨学金の支援を受けたマレーシアの学生が累計で1,000人を超えることをアピールし、今後学友会との協働を打診するなど、現地のロータリークラブとの連携を模索しているとのことでした。

### 3. 寄付金速報 — 例年並みの推移 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.1% 特 + 3.2%

2 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8% 増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.2%増）、約 2,040 万円の増加となりました。

た。今月の寄付金は、直近 5 年間と同様の平均額で推移しています。皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

### 4. 「人としての成長を実感」奨学期間を振り返る

卒業シーズンとなる 3 月、多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出すこととなります。今回は、ベトナム出身のグエンティ ハインさん（2022-24/横浜泉 RC）に、米山奨学生として過ごした 2 年間を振り返っていただきました。

〈ハインさんより〉

米山奨学生に合格した時は、とにかく大喜びしました。待ちに待った合格通知を受け取った瞬間は、今でも覚えています。それまでの努力や挑戦が報われたことを実感すると同時に、その恩返しをしっかりと果たさなければならない、という責任も感じていました。初めてクラブの方々とは出会った時は、ただ私を歓迎するだけでなく、将来のためにサポートしたい、という姿勢を強く感じ、心を打たれました。例会のたびにいただいた温かい言葉や応援のメッセージは、異国の地で過ごす私にとって、大きな励みになりました。

世話クラブでの 2 年間を通じて学んだ人間性、社会貢献に対する価値観や、真のリーダーシップは他者のために尽くすことにある、という考え方は、まだ学生の私にとって、学外での貴重な学びとなりました。多くのアドバイスやご指



ハインさんとカウンセラーの鈴木崇弘氏(右)

導を受け、自分が人として成長できている、という実感を得ることができました。

4 月から新たに米山奨学生となる方々にぜひ実践してほしいことは、クラブ会員の皆さんのお名前とお仕事をいち早く覚えることです。そうすれば、いろんなテーマで会話が弾みます。実際に私も名簿をいただき、一生懸命覚えしました。母国について興味を持ってくださるので、母国に関する知識を深めておくことも大切です。

ここでの学びを生かし、今後は日本で、子どもたちの教育支援など、社会の課題解決に貢献することが私の目標です。ぜひ応援してください。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

#### 米山学友の顔

#### よねやま親善大使をお招きください

現在、第 5 代よねやま親善大使として選ばれた、個性豊かな米山学友 3 人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように活かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら





第2地域 コーディネーター補佐

黒川 伸一 (富山南RC)

より良いクラブにしよう

今年1月のオランダでは、アーチック会長エレクトの「ロータリーのマジック」のテーマと共に、3年間の目標と計画、ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため、4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進、前任者や後任者と協力すること・クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けることを掲げ、単年度制のシステムに継続性を加え、より良いクラブ作りを目指しています。



ロータリーはクラブが基本をさらに充実させることの重要性を出しており、今までのクラブに継続性の課題を数値化して、それぞれの検証を行い続ける事としています。私たちロータリーコーディネーター補佐は、担当の地区に於いてガバナーの地区運営に寄与し、アーチック会長エレクトと一緒にクラブそのものを良くして行きたいと考えます。

私自身、2月には2回目のパキスタン・カラチに行き、現地のポリオワーカーの方々やポリオワクチンの、投与等の活動をさせて頂き、パキスタンのロータリアンの活動や今後の、ポリオ根絶への方向性を見させて頂きました。その中に、ロータリー財団の7つの重点分野にもあります「水と衛生」に関して、現地での飲料水に対する支援の必要性を、昨年活動で感じていました。給水車での飲料水の配給は、時間と配給量が限られ、今年1月被災した能登地震での長期に渡る水道水の断水で、どれだけの方々が苦勞されたかが、身近で実感致しました。パキスタンの方々は、その状態を毎日の状態で、ポリオもポリオワーカーの方々のワクチン投与だけで、よく減少していると感心します。2026年にはポリオ根絶を目指しますが、その継続性を保つには「水と衛生」に関しての継続的支援も、ロータリーとして継続課題だと考えます。また、これらの実現が、本来のポリオ根絶になるとも思いますので、これからも一人のロータリアンとして活動を継続していきますので、よろしく願いいたします。

第2地域 公共イメージコーディネーター

桑澤 一郎 (茅野RC)

「アクションプランの推進」と「3年間の目標」について

次年度の話で恐縮ですが、ステファニー・アーチック会長エレクトは、会長イニシアティブの一つに「クラブにおけるアクションプランの推進」を掲げ



ており、新たに各ゾーンに「アクションプランチャンピオン(行動計画推進者)」なる役を設け、地区やクラブへのアクションプランの浸透を推し進めようとしています。

一方で、RI理事会により「3-year rolling targets(3年間の目標)」のパイロット実施が決議され、各RI理事を通して各地区、クラブに伝達が行われています。

アクションプランと3年間の目標は、実は密接に結びついております。つまり、3年間の目標の入力はマイロータリーの「クラブセントラル」からおこないます(現在は1年のみ=RIにより改変中)が、その目標の項目はアクションプランの4つの優先事項、つまり「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」に分類され、それぞれに目標項目が掲げられておりますので、目標設定の前にアクションプランというロータリーの活動方針の理解が必要となります。もちろん、単に具体的な目標項目に目標数字や奉仕活動目標を入力することはできますが、私たちが何を目的としてこれらを達成しようとしているかを理解していなければ、数字や奉仕活動が一人歩きしてしまい、それは時にロータリーの目指すものと一致しない場合が出てきてしまう可能性があります。

私たちが目指すもの、これはビジョン声明として掲げられた「私たちは世界で地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」であります。この大きな目標に向かって進むための方法論として様々な取り組みに加え、今回のアクションプラン推進と3年間の目標があります。この流れを理解して進めることが重要です。

アクションプランと3年間の目標については、昨年より設置されたJAPAN ROTARY ポータルサイトに詳しい情報を掲載しています。ぜひこちらをご覧くださいの上、クラブに紹介してご活用いただきますようお願いいたします。

<https://www.japanrotary.club>



【次ページへ】



第2地域 R財団地域コーディネーター補佐  
笹橋 美久 (名古屋中RC)

重点分野における環境について

皆様、日頃ロータリー財団の活動にご尽力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今回は、重点分野に2021年から加わりました『環境』について少し述べさせていただきます。昨今、地震や津波等の自然災害のみならず地球温暖化に伴う異常気象も深刻となり、経済や社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。こうした状況は、私たちの毎日の生活にも大きな影響を及ぼしています。



昨年から世界中で起きている異常気象が穀物の価格を押し上げ、私たちの家計に大きな影響を与えています。これも地球温暖化が進行しつつあることを如実に表しているものであります。

これらは、我々の目に留まる事象の一部ではありますが、地球環境は、日に日に悪化の一途をたどっております。我々の生活が快適になればなるほど、現在の地球のどこかで環境破壊が進んでいるということを私たちは強く認識しなければなりません。

日本は、海に囲まれ、多くの海産物に恵まれています。一方で私たちがマグロやウナギの漁獲量を増加させたことは、種の絶滅の危険性を高め、海の生態系にも大きな影響を与えてきたことを忘れてはなりません。特に、私たちが海に放出している海洋マイクロプラスチックは、大きな問題として、昨今報道されています。海洋マイクロプラスチックは海を漂流し続けているそうです。日本においても、地球環境問題は決して他人ごとではなく、喫緊に取り組むべき問題と位置づけるべきであり、ロータリーは真剣に活動しなければならないと思います。

まずは、私たち自身が快適な生活を求めるあまり、地球上のどこかの自然を破壊しているという事実を認識するところから始めましょう。以下、環境保護を進めるためのきっかけとして、いくつか重点的なポイントを提案させていただきます。皆様の参考にして頂ければ幸いです。

・地球環境の保全

脱炭素化の推進、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換

マイクロプラスチックの流出抑制

・自然との共生

カーボンニュートラルの推進、森林破壊の抑制、里山の再生計画、生物多様性の保全

・廃棄物の適正処理

ビン、プラスチック、紙等のリサイクルの推進、ごみの排出抑制・適正処理

こうした問題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、どれも私たちの生活に大きな影響を与える事柄です。化石燃料の使用の抑制を考える。また不要なプラスチックの使用を控えるということも、比較的すぐに始められることかと思えます。地球環境の保護という大きな目標に向かって、まずは小さなステップから始めようではありませんか。それぞれのロータリー会員の小さな一歩が、地球全体での大きな一歩となるはずですよ。

なお、この環境分野における補助金の運用は、グローバル補助金を活用することが可能でございます。従来のグローバル補助金の使途方法は、援助国(先進国)から拠出され、支援国(後進国)へ主流でありましたが、環境分野が加わることにより、先進国にも適用する機会が増えて参りました。わが国においてもグローバル補助金の活用に向けた計画をされてみてはいかがでしょうか？

今後のロータリーの奉仕活動において、上述のことを参考にして頂き、草の根の活動をさらに推進していただきたいと思えます。環境の保護を重点的に取り入れつつ、ロータリー会員の皆様がさらに充実した活動を展開されることを祈念しております。



ロータリー財団に  
寄付しました  
一緒に変化をもたらしていきましょう  
[rotary.org/donate](https://rotary.org/donate)

The Rotary Foundation



## 第2640地区 会員数報告(2024年2月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	23.7.1	内女性	24.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計		23.7.1	内女性	24.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計
串本	5	1	4	1	0	0	0	0	0	1	松原	11	0	8	0	0	0	0	0	0	3
那智勝浦	9	0	8	0	0	0	0	0	0	1	松原中	23	3	23	3	0	0	1	0	0	1
新宮	45	2	49	4	0	0	5	0	0	1	美原	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	5	0	4	0	0	0	0	0	0	1
田辺	86	4	86	4	0	0	1	0	0	1	太子	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1
田辺東	36	3	33	1	1	0	2	2	1	5	富田林	32	0	31	0	0	0	0	0	0	1
田辺はまゆう	28	6	31	6	0	0	5	0	0	2	泉佐野	25	0	26	0	0	0	1	0	0	0
有田	24	1	25	1	0	0	1	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	22	1	22	1	0	0	0	0	0	0	貝塚コスモス	12	3	12	3	0	0	1	0	0	1
有田2000	13	0	12	0	0	0	0	0	0	1	関西国際空港	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
御坊	36	3	36	2	1	0	2	0	0	2	岸和田	31	1	31	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	13	0	12	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	39	7	40	7	0	0	3	1	1	2
御坊南	15	6	14	5	0	0	0	0	0	1	岸和田南	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0
海南	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日美	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	39	5	0	0	0	0	0	1	りんくう泉佐野	15	3	15	3	0	0	0	0	0	0
海南西	15	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	76	1	81	2	0	0	6	0	0	1	和泉	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
和歌山アゼリア	29	11	27	9	0	0	0	0	0	2	泉大津	41	3	44	4	0	0	3	0	0	0
和歌山東	50	0	51	0	0	0	2	0	0	1	和泉南	59	2	62	2	1	0	3	0	0	0
和歌山城南	37	2	37	2	0	0	1	1	0	1	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	17	0	18	0	0	0	1	0	0	0	高石	25	1	25	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	28	1	30	2	0	0	2	0	0	0	高師浜	10	1	10	2	0	0	1	0	0	1
和歌山南	70	6	74	8	0	0	6	0	0	2	堺	40	3	42	4	0	0	4	0	0	2
和歌山東南	36	5	39	5	0	0	3	0	0	0	堺東	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	22	3	0	0	1	0	0	2
橋本	45	0	44	0	0	0	2	0	0	3	堺中	15	3	17	0	0	0	2	0	0	0
岩出	23	1	23	1	0	0	0	0	0	0	堺北	29	1	28	2	0	0	3	0	0	3
河内長野高野街道	18	5	17	5	0	0	2	0	0	1	堺おおいずみ	24	3	23	3	0	0	0	0	0	1
粉河	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
高野山	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	堺清陵	19	4	22	4	1	0	3	0	0	0
羽曳野	9	0	10	0	0	0	2	0	0	1											
河内長野	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0
河内長野東	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0	計	1,548	128	1,565	129	4	0	69	4	2	48



クラブ数	2023年7月1日 会員数				2024年2月末 会員数				2月入会		2月退会		増減							
64	男性	1,420	女性	128	男性	1,436	女性	129	男性	4	女性	0	男性	2	女性	2	男性	2	女性	-2
	1,548				1,565				4		4		0							

**クラブを成功に導く会員増強** みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

# 会員増強はクラブの最優先事項です！

Rotary  My Rotary

2023-2024 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2024年3月27日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2024年3月27日	1,559	769	49.33%

1 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	串本	4	1	25.0%
	那智勝浦	8	2	25.0%
	新宮	49	14	28.6%
	白浜	10	6	60.0%
	田辺	86	51	59.3%
	田辺東	34	14	41.2%
	田辺はまゆう	31	9	29.0%
	分区計	222	97	38.3%

3 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	和歌山	81	62	76.5%
	和歌山アゼリア	28	6	21.4%
	和歌山東	51	42	82.4%
	和歌山城南	37	9	24.3%
	和歌山中	18	5	27.8%
	和歌山北	28	16	57.1%
	和歌山南	73	53	72.6%
	和歌山東南	39	10	25.6%
	和歌山西	10	2	20.0%
	分区計	365	205	45.3%

5 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽曳野	10	2	20.0%
	河内長野	22	22	100%
	河内長野東	22	6	27.3%
	松原	8	6	75.0%
	松原中	23	8	34.8%
	美原	7	0	0.0%
	大阪狭山	4	4	100%
	太子	15	11	73.3%
	富田林	31	19	61.3%
	分区計	142	78	54.6%

7 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽衣	16	10	62.5%
	和泉	20	7	35.0%
	泉大津	44	23	52.3%
	和泉南	62	16	25.8%
	大阪金剛	12	11	91.7%
	高石	25	10	40.0%
	高師浜	10	8	80.0%
	分区計	189	85	55.3%

目標達成 5クラブ

100% 達成クラブ  
貝塚ロータリークラブ  
河内長野ロータリークラブ  
大阪狭山ロータリークラブ

2023-2024年度  
登録率目標  
**88%**

2 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	有田	25	12	48.0%
	有田南	22	3	13.6%
	有田2000	13	9	69.2%
	御坊	37	13	35.1%
	御坊東	12	7	58.3%
	御坊南	14	4	28.6%
	海南	8	5	62.5%
	海南東	39	36	92.3%
	海南西	15	1	6.7%
	分区計	185	90	46.0%

4 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	橋本	44	4	9.1%
	岩出	23	6	26.1%
	河内長野高野街道	17	10	58.8%
	粉河	14	9	64.3%
	高野山	14	8	57.1%
	分区計	112	37	43.1%

6 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	泉佐野	26	10	38.5%
	貝塚	14	14	100%
	貝塚コスモス	12	8	66.7%
	関西国際空港	16	4	25.0%
	岸和田	31	8	25.8%
	岸和田東	40	23	57.5%
	岸和田南	6	1	16.7%
	KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
	りんくう泉佐野	15	7	46.7%
	分区計	168	79	47.4%

8 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	堺	42	15	35.7%
	堺東	16	14	87.5%
	堺泉ヶ丘	22	13	59.1%
	堺中	17	5	29.4%
	堺北	28	11	39.3%
	堺おおいずみ	23	20	87.0%
	堺フェニックス	6	2	33.3%
	堺清陵	22	18	81.8%
	分区計	176	98	56.6%

9 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	7	6	85.7%



4月の行事予定表

日付	行事	場所
6(土)	ローターアクト年次大会	南海グリル堺 東店
7(日)	米山記念奨学生オリエンテーション/カウンセラー研修会/確約宣誓式	和歌山JAビル 和ABC
13(土)	和歌山北RC創立45周年記念式典	ホテルグランヴィア和歌山
	ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	次年度ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
14(日)	RLI part II	ZOOM
	第5回派遣候補生・受入学生オリエンテーション	けやきONE401
18(木)	第5回(新旧合同)地域社会奉仕委員会会議	ガバナー事務所
20(土)	有田2000RC創立25周年記念式典	橋屋
21(日)	地区研修・協議会	和歌山大学
27(土)~29(月)	第42回RYLAセミナー	潮岬青少年の家



**ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。**

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に役立ててもらうため、情報収集と紙面の充実に努めています。

皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける**活動情報**は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送信ください。また、毎号の**表紙写真**も併せてご提供ください。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー  
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331  
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室  
TEL (073) 426-2640  
FAX (073) 426-2660

e-mail : tani@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分  
阪和道、和歌山インターから約10分

